

令和元年度 第2回逗子市国民健康保険運営協議会議事概要

1 日 時 令和元年8月7日(水) 14:00～14:55

2 場 所 市役所5階第1会議室

3 議 題

- (1) 平成30年度逗子市国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算(案)について
- (2) その他

4 出席者

佐々木 つぐ巳 委員 高津 恵一 委員 小松原 秀樹 委員
松岡 三夫 委員 池上 晃子 委員 松澤 修司 委員
井澤 正明 委員

欠席者

なし

事務局

須藤福祉部長 廣川福祉部次長 廣末国保健康課長 西海副主幹
鈴木係長 阿部主任

傍聴者

なし

5 概 要

議題(1) 平成30年度逗子市国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算(案)について
特別会計歳入・歳出決算(案)について審議され、了承された。

議題(2) その他

事務局より、市のホームページに掲載した保険料率決定の記事について、市民から寄せられた意見を紹介するとともに、ホームページの改善について意見を求めた。

【質疑応答】

・特定健診の対象者は約1万人であり、そのうち約3,000人が受診したということなのか。また、今後受診者が増えればこれに係る経費が増えるとみて良いのか。

→そのとおりである。

・特定健診事業費について、平成28年度から徐々に減少しているが、これは対象者が減少しているということか。

→そのとおりである。ここ数年、全体として受診率は概ね30%~32%で推移している。

・出産育児一時金について、平成30年度予算として2,730万円が計上され、執行率は75%だが、当初の見込数より出生数が少なかったということか。

→当初予算については、ここ数年の平均で見込んでおり、過去に支出が多い年もあったことから、その点を考慮して予算計上している。

・特定保健指導の利用者が少ないというのは何か理由があるのか。

→過去に特定保健指導を利用すると、再度利用する意欲が低下するため、平成30年度から対象者へのアプローチ方法を変えるなど改善に努めている。

・特定健診の受診率について藤沢市は非常に高いが、受診率の差は何に要因があるのか。

→県内においては、藤沢市が40数%で受診率が一番高く、逆に一番低いのは横浜市で22~23%となっている。藤沢市は医師会の主導により高い受診率を維持できているのではないかと推測される。逗子市の受診率は平均より少し上の位置づけだが、今後、特定健診の自己負担額の無料化など受診率向上のための方策を検討中である。

・他市の特定健診の受診料は逗子と同額程度か。無料の自治体はあるのか。

→若干の差はあるがだいたい同額程度である。無料の自治体は横浜市と清川村である。